



荒川区西日暮里2-55-1
国鉄労組東京地方本部
発行責任者 石上浩一
編集責任者 常盤達雄

No.1737

2011年
8月5日

国労加入を
大胆に訴えよう

上野支部・八王子地区本部 組織拡大に向け交流会を開催

上野支部

上野支部二回目となる支部組織対策交流会が六月二六、二七日にかけて熱海で開催された。参加者は総勢三八名。内容は、森委員長のあいさつ、宮坂要・元本部書記長の講演「国労とともに歩んで六〇年」、東日本高野委員長、武笠執行委員より「大震災と制度問題」「人事・賃金制度の報告」、分散会、夕食交流会。翌日は地本松川書記長の講演「組織拡大の取り組み」、分散会報告、まとめと盛り沢山の内容でした。今回のテーマは、「面倒見の良い小父さん」から一歩進めた今年のスローガンである「国労に自信を持って組織加入を呼びかけよう！」をもとに支部から今年の新採

対策の取り組みの報告、職場実態調査に基づく分会運動の分析と活性化、他労組の状況など報告があった。今後の取り組みの課題として、取り組みを通じての分り量の向上、未加入者をどうやって粘り強く加入を勧められるか、問題点のチェックと機関への集中などが提起された。分散会報告では、①日常活動としての飲み会、レクなどへの誘いはどこも活発。②職場要求の改善が現場長の対応によって進まず、組織活動のネックになっている。Gの雇止め歯止めをかけることが大切。③新採は東労組とのぶつかり合い。④国労の試験未受験者に分会が受験を進め

組織対策費は有効に役立っている、新採加入で説明できるようなミニガイドブックを。⑦職場に居る期間が短いためつながりを作りにくい。職場の中で話す雰囲気ではない。など多くの報告がされました。最後に鈴木書記長がまとめを行い、「これから職場要求前進の取り組みと組織拡大の取り組みを並行してやりきろう」と提起があり、「何としても組織を増やそう」とまとめた。

八王子地区本部

八王子地区本部では七月二三日に、組織拡大経験交流集會を立川の三労働会館で開催した。一〇時三〇分に井上副委員長の司会で

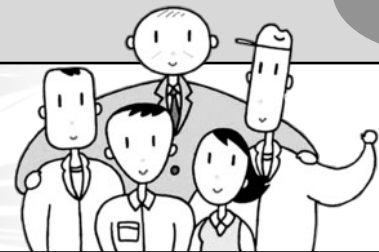


最後に東日本本部から参加の樋口執行委員と松井書記長から感想をいただき、横森書記長から「新採対策にもう一工夫が必要。こうした集會に職場の仲間を連れてくる努力も必要。私たちの闘いに自信と確信を持って、一人一人ができる事からがんばろう」などのまとめがされた。集會の最後に熊田組織部長の閉會あいさつと団結ガンバロウで組織拡大に向けた決意を固めた。

始まり、続く小山委員長のあいさつでは「仕事・安全の問題を取り上げ、国労らしさを出してアピールしていく事が大事。単に会社を批判するのではなく、対案を出していく。分会活動活性化・組織づくりが必要。あわせてレクを含めた個人的なつながりややっていく事が必要」などが話された。東日本本部松井書記長から情勢報告として、JR不採用問題、一年間実施が延期された新人事賃金制度、組織強化拡大についてさまざまな報告があった。

今年度
新入社員
東労組
から
7/27付 大船保線
技術センター分会 23歳
7/30付 亀有駅分会 50歳

組織拡大! 歓迎



連載企画 分会紹介

28

蒲田駅

分会

国労蒲田駅分会は一三名の組合員で構成されています。

蒲田駅社員は七一名で四年前に新販売拠点となり、びゅう社員も一緒に働いています。女性社員は一六名でGS社員が二〇名と全体の二八%を占めています。国労は出札五名、ホーム三名、信号四名、内勤一名です。

分会としては、毎月一回定例執行委員会を開催しています。春・秋にレクを開催し交流を深めています。また蒲田地区協主催の会議やレクに参加し他分会との交流も積極的に図っています。

六月一七日に職場集会を開催し九名が参加してくれました。「四月二一日に新採組合説明会の現場長申し入れを行なった中味や、職場の問題点について意見交換した経過を報告し、確認しあってきました。その中味ですが二つほど紹介します。

① 蒲田駅の防災対策見直し、危険箇所の点検、耐震強化について

② GS社員の正社員化については受験資格三年目からを一年目から実施と五年後には自動的に採用されたい。

なども含め駅側の対応は、検討できる要件もあるが平行線に終わりました。

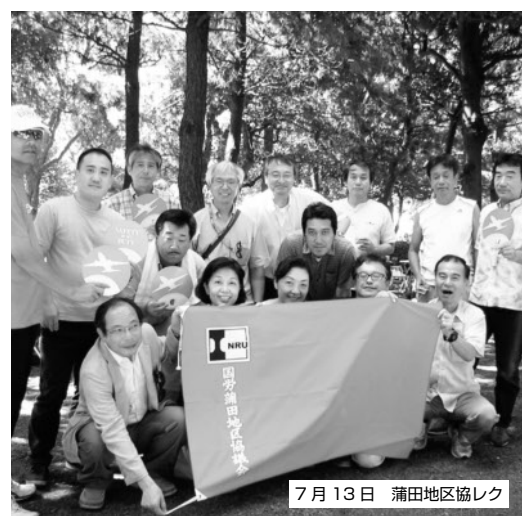


青年部 バーベキュー 写真集



東京地本青年部・青対委は七月二三日に恒例のバーベキューレクリエーションを開催した。

青年部を中心に約三〇名の参加で大いに盛り上がった。普段から交流のある江ノ電労組青年部の仲間も参加し、大いに交流も行った。



7月13日 蒲田地区協レク

分会は引き続き改善を求め組織拡大を実現する決意を固めました。

最後に蒲田駅分会は東日本大震災に遭われた組合員、家族の皆様に対し心からお悔やみ申し上げる次第です。組合員から寄せ書きを書いて三地本に送りました。これからも職場の労働者に依拠した運動をつくっていきたくと考えています。



八王子地区本部の駅の分会は中央線より枝線に組合員が多く、エルダー問題について多くの声をいただいた。今後も地方本部は職場オ

第62回 地方大会

9月17日
~18日

発明会館



「がん」の保障 《生きるためのがん保険Days(デイズ)》

スタンダードプラン	入院給付金日額 10,000円の場合	がんの場合 上皮内新生物の場合	一時金として 100万円 一時金として 10万円
初めて診断確定されたとき	診断給付金		
入院したとき	入院給付金	1日につき	10,000円
通院したとき	通院給付金	1日につき	10,000円
手術したとき	手術治療給付金	1回につき	20万円
放射線治療を受けたとき	放射線治療給付金	1回につき	20万円
抗がん剤治療を受けたとき (上皮内新生物は対象外)	抗がん剤治療給付金	抗がん剤治療を受けた月ごとに 乳がん・前立腺がんのホルモン療法のと (すべての保険期間を通じ通算600万円まで)	1カ月 10万円 1カ月 5万円
プレミアムサポート	訪問面談サービスと専門医紹介 (このサービスは、株式会社法研が提供するサービスです)		

【引受保険会社】 アフラック東京第三法人営業部
〒163-0456 東京都新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル
当社保険に関するお問い合わせ・各種お手続き
コールセンター **0120-5555-95**

【募集代理店】 **アベニール株式会社**
〒105-0004 東京都港区新橋5-15-5 交通ビル3F
電話 **03-3437-6810** ファックス **03-3437-6822**

「生きる」を創る。Aflac

◆月払保険料 (団体取扱) (2011年4月1日現在)
生きるためのがん保険Days(デイズ)スタンダードプラン
入院給付金日額10,000円 定額タイプ
保険料払込期間: 終身 (抗がん剤治療特約は10年更新)

	35歳	45歳	55歳	65歳
男性	3,656円	5,608円	9,360円	15,190円
女性	3,734円	5,274円	6,864円	9,048円

〈抗がん剤治療特約〉の更新後の保険料は更新時の年齢・保険料率によって決まります。

【取りまとめ先】 **アベニール株式会社 東京営業所**
〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-55-1 国労東京地方本部内
JR電話 **054-2548** ファックス **03-3806-9275**
電話 **03-3806-9264**

◎詳しくは、パンフレット (契約概要) をご覧ください。 AF007-2011-0186 4月25日